



学校便り

平成23年 9月 9日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

「よりよい学校をめざして」アンケートのお礼

7月に実施いたしました「よりよい学校をめざして」のアンケート調査には、ご多用の中、多くの保護者のみなさまから回答を寄せていただき、ありがとうございました。このアンケートは、今年度、本校が学校経営計画で重点的に取り組んでいるものについて、保護者のみなさまのご意見を聞かせていただくものでした。おかげさまで、年々評価があがってきております。調査の結果をグラフにしましたのでご覧ください。合わせて児童アンケートの結果もご覧いただけたらと思います。また、貴重なご意見・ご感想もいただきました。今後の取り組みに生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

学校保健委員会を開きました。

7月29日（金）学校医の先生方をお迎えし、学校保健委員会を開きました。

校医の先生方 4名 校長・教頭・教職員 12名 保護者 8名

学校の方から、保健室利用状況の報告、定期健康診断結果（治療）状況、発育状況、平成23年度新体力テストについて、学校給食平均残食率、生活リズム調べの結果を報告しました。その後、保護者からの質問に学校医の先生方に答えていただきました。短い時間でしたが、有意義な時を過ごすことができました。



第2回学校協力者会議を開きました

8月30日午後1時30分より、第2回目の学校協力者会議を開きました。

第2回 学校協力者会議報告（平成23年 8月30日）

学校協力者会議委員9名 校長・教頭・教職員12名

1. 開会のあいさつ（委員長）

2. 学校の状況について（中間評価の結果より）

校長・教務主任・生活部長・保健主事説明

【ご意見・ご感想】

○（アンケート結果に関連して）

・児童のアンケート結果と教員のアンケート結果にギャップがあるがどうなのか。
→子どもができたといっても教員としてはまだできるはずだ、目標としている基準まで達成していないと判断している。また、子どもができたといっても中身が伴っていない場合がある。そのあたりでギャップが生じているのではないかと考えている。

・教員のアンケート結果が厳しいのは高い理想を持っている証拠である。子どもや保護者のアンケート結果が高いことに気を取られて安心しないように。

・児童のアンケートはとても満足しているという結果である。しかし現状に満足していることが伸びない原因ではないか。子どもに現状をしっかりと分からせて改善していかなければならないのではないか。

・中間評価としてはとても良い方向にいつている。

○（豊かな人間性の育成に関連して）

・「ありがとう」と言ったり言ってもらったりして、コミュニケーションを図っているかというのは具体的にはどんな場面でわかるのか。

→子どもたちは、ちょっとしたことでも言葉が足りないことで誤解が生じ、けんかになってしまう。相手の気持ちをくみ取り、相手の立場に立って考える事を指導している。その際、どんな言葉がけが必要か考えさせている。

○（残食率に関連して）

・残食率が下がっていることには感心している。ふれあい給食に参加させてもらったが、その時、先生の子どもに対する言葉がけがすばらしかった。細かい配慮のもと、先生方の努力で残食率が下がってきていると感じている。

○（体力の向上に関連して）

・体育の授業でのサーキットコース活用とは？

→校庭の周りにある遊具（鉄棒・うんてい・のぼり棒・つり輪わたり等）をまわりながら基礎的な体力向上を目指している。

○（その他）

・子どもたちの様子を地域に発信する手だては？

→安全ボランティアの方には学校便りをお配りしているが、地域の方全員ではない。今後、なんらかの方法で、地域全体に学校から発信していきたい。

・夏休みにラジオ体操に子どもがたくさん来ていた。また、来ている子どもはあいさつ（おはようございます・ありがとう・さようなら）をよくしていた。

・夏休みに外で遊ぶ子どもたちを見かけなかったが、何をしていたのだろうか。

→夏休みのプール開放には毎日たくさんの子どもが参加していた。お盆すぎにも人数が減らず例年に比べて参加者は多かった。しかしながら、暑さで家の中でゲーム等をしてきた子どもたちも多かったのではないか。

・先生、保護者、地域が一体となって子どもたちを育てていくことが必要だが、親が一番頑張らないといけな。また、学力の向上も大切だが、それよりもなにより、豊かな人間性の育成に力を入れていかなければと感じている。

3. 閉会のあいさつ（副委員長）